

<参考> 医療用麻薬廃棄方法一覧

品名	包装	組成	メーカー	廃棄方法
日本薬局方 アヘン末	5g	アヘン末	第一三共プロ ファーマ	水とともに下水に放流
日本薬局方 アヘン散	25g	1g中 アヘン末 0.1g	第一三共プロ ファーマ 武田	水とともに下水に放流
日本薬局方 アヘンチンキ	25mL	モルヒネ 1w/v%	第一三共プロ ファーマ 武田	水とともに下水に放流
日本薬局方 アヘン・トコン散 (ドーフル散)	25g	1g中 アヘン末0.1g トコン末0.1g	第一三共プロ ファーマ 武田	水とともに下水に放流
日本薬局方 アヘンアルカロイド塩酸塩 (オピアル)	5g	アヘンアルカロイ ド塩酸塩	武田 (パンオピン)	水とともに下水に放流
日本薬局方 アヘンアルカロイド塩酸塩注射液 (オピアル注射液)	1mLx10A	1mL中 塩酸アヘン アルカロイド 20mg	第一三共プロ ファーマ 武田 (パンオピン皮 下注20mg) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 アヘンアルカロイド・ アトロピン注射液 (オピアト注射液)	1mLx10A	1mL中 アヘンアルカロイ ド塩酸塩 20mg アトロピン硫酸塩 水和物 0.3mg	第一三共プロ ファーマ 武田 (パンアト皮下 注20mg) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 弱アヘンアルカロイド・ スコポラミン注射液 (弱オピスコ注射液)	1mLx10A	1mL中 アヘンアルカロイ ド塩酸塩 20mg スコポラミン臭化 水素酸塩水和物 0.3mg	第一三共プロ ファーマ 武田 (弱パンスコ注) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 アヘンアルカロイド・ スコポラミン注射液 (オピスコ注射液)	1mL × 10A	1mL中 アヘンアルカロイ ド塩酸塩 40mg スコポラミン臭化 水素酸塩水和物 0.6mg	第一三共プロ ファーマ 武田 (パンスコ注) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 モルヒネ塩酸塩水和物 (塩酸モルヒネ)	5g	モルヒネ塩酸塩水 和物	第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田	水とともに下水に放流
日本薬局方 モルヒネ塩酸塩錠 (塩酸モルヒネ錠)	PTP80T 100T	1錠中 モルヒネ塩酸塩水 和物 10mg	大日本住友	粉砕して水とともに放流
パシーフカプセル30mg	30mg 50Cap 100Cap	1カプセル中 モルヒネ塩酸塩水 和物 30mg	武田	水やお湯に入れカプセルが融解したら、顆粒を乳鉢ですり潰して下水に放流
パシーフカプセル60mg	60mg 50Cap 100Cap	1カプセル中 モルヒネ塩酸塩水 和物 60mg		
パシーフカプセル120mg	120mg 50Cap 100Cap	1カプセル中 モルヒネ塩酸塩水 和物 120mg		
日本薬局方 モルヒネ塩酸塩注射液 10mg (塩酸モルヒネ注射液 10mg)	1mL × 10A	1mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 10mg	第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田 大日本住友 (アンベック注) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 モルヒネ塩酸塩注射液 50mg (塩酸モルヒネ注射液 50mg)	5mL × 5A 5mL × 10A	5mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 50mg	武田	アンプルをカットして注射液を下水に放流

品名	包装	組成	メーカー	廃棄方法
日本薬局方 モルヒネ塩酸塩注射液 200mg (塩酸モルヒネ注射液 200mg)	5mL×1A	5mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物200mg	塩野義 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
	5mL×5A		第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田 大日本住友 (アンペック注) 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
	5mL×10A		田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
モルヒネ塩酸塩注射液 プレペノン注 50mgシリンジ	5mL×5本	5mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 50mg	テルモ	プランジャー(押し子)を完全に押し切って、シリンジ内の残液を下流に放流
モルヒネ塩酸塩注射液 プレペノン注 100mgシリンジ	10mL×5本	10mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 100mg		
日本薬局方 モルヒネ・アトロピン注射液 (モヒアト注射液)	1mL×10A	1mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 10mg アトロピン硫酸塩 水和物 0.3mg	第一三共プロ ファーマ 武田 田辺三菱	アンプルをカットして注射液を下水に放流
モルヒネ塩酸塩坐剤 アンペック坐剤 10mg	10mg 50個	1個中 モルヒネ塩酸塩水 和物 10mg	大日本住友	目安: アンペック坐剤1個+温水量100mL以上+家庭用液体台所洗剤1mL/温水 100mL 実例: アンペック坐剤200mg5個を50~60℃の温水約500mLに入れ、これに家庭 用 液体台所洗剤約3mLを加えて、十分かき混ぜると坐剤は乳化状態になり、流 しに廃棄することができる。
モルヒネ塩酸塩坐剤 アンペック坐剤 20mg	20mg 50個	1個中 モルヒネ塩酸塩水 和物20mg		
モルヒネ塩酸塩坐剤 アンペック坐剤 30mg	30mg 30個	1個中 モルヒネ塩酸塩水 和物 30mg		
モルヒネ塩酸塩内服用液 オプソ内服液 5mg	5mg×20包	1包2.5mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 5mg	大日本住友	水とともに下水へ放流
モルヒネ塩酸塩内服用液 オプソ内服液 10mg	10mg×20包	1包5mL中 モルヒネ塩酸塩水 和物 10mg		
モルヒネ硫酸塩徐放錠 MSコンチン錠 10mg	10mg 50T PTP 100T PTP 200T	1錠中 モルヒネ硫酸塩水 和物 10mg	塩野義	熱水中に錠剤を入れ30秒間放置した後、棒状のもので錠剤を潰し攪拌する。 次いで、この中に水を入れて冷却し、錠剤の溶解、崩壊を確認したのち、下水に 放流する。 ※MSコンチン錠の場合、熱水(60℃以上)で素錠は溶けませんが、コーティング 皮膜の方は熱水には溶けず、水に溶けます。 このため、熱水中で一旦コーティング皮膜を棒状のもので壊し、素錠をほどほ ど に溶解または崩壊させた後、熱水を冷却してコーティング皮膜を溶解し廃棄する 手順です。
モルヒネ硫酸塩徐放錠 MSコンチン錠 30mg	30mg 50T PTP 100T	1錠中 モルヒネ硫酸塩水 和物 30mg		
モルヒネ硫酸塩徐放錠 MSコンチン錠 60mg	60mg 50T PTP 100T	1錠中 モルヒネ硫酸塩水 和物 60mg		
硫酸モルヒネ徐放錠 ピーガード錠 20mg	20mg PTP 14T PTP 50T	1錠中 硫酸モルヒネ 20mg	田辺三菱	①錠剤を37℃以上の温水(10ml/1錠)中に入れ、乳棒で2~3分軽く粉砕しな がらかき混ぜる。 ②錠剤融解後、約5倍量の水を加えて、上澄みを注意深く下水に放流した後、 コーティング皮膜を廃棄する。
硫酸モルヒネ徐放錠 ピーガード錠 30mg	30mg PTP 14T PTP 50T	1錠中 硫酸モルヒネ 30mg		
硫酸モルヒネ徐放錠 ピーガード錠 60mg	60mg PTP 14T PTP 50T	1錠中 硫酸モルヒネ 60mg		
硫酸モルヒネ徐放錠 ピーガード錠 120mg	120mg PTP 14T PTP 50T	1錠中 硫酸モルヒネ 120mg		
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンカプセル 20mg	20mg PTP 50cap PTP 100cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 20mg	大日本住友	①カプセル剤を37℃以上の温水(10mL/1cap)中に入れ、崩壊するまで放置す る。 ②内容物の放出が認められたら、カプセルが溶解するまでときどき攪拌する。 ③カプセルが溶解後、液を除去し、残留物(粒状)に5倍量のエタノール(95%)を 加え、5~10分間攪拌する。 ※エタノールがない場合には、50~60℃の温水でベレットを湿らせて乳鉢粉砕し、最終的に製剤 (粒)1g あたり10mLの温水を加えて乳棒で3~5分かき混ぜることにより、ベレットが崩壊し、硫酸モルヒネが 溶解する。不溶性の皮膜は18号篩(目開き:850um)で除去できる。 *粒のままでは乳棒により粒がはじき飛ばされる現象が生じるため注意を要する。また、多量の場合 も砕し難い。 ④白濁液に50~60℃の温水をエタノール量加え、残存した粒が溶解するまで攪 拌す る。 *以上の手順により、カプセル剤は液状となり、液は白濁しているが、硫酸モルヒネは完全溶解して いる。なお、ゼラチンカプセルの水に対する溶解性は、36℃以下で30分以上要するため、37℃以上
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンカプセル 30mg	30mg PTP 50cap PTP 100cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 30mg		
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンカプセル 60mg	60mg PTP 50cap PTP 100cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 60mg		

品名	包装	組成	メーカー	廃棄方法
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンスティック粒 30mg	30mg 50包	1スティック中 モルヒネ硫酸塩水 和物 30mg	大日本住友	(1)エタノールがある場合 ①ペレット重量に対して5倍量のエタノール(95%)に、ペレットを添加し、5～10分間 攪拌する。 ②攪拌後の白濁した液に50～60℃の温水をエタノール量の3倍量加え、残存した ペレットが溶解するまで攪拌する。 *以上の手順により、ペレットは液状となり、液は白濁しているが、硫酸モルヒネは完全溶解している。 消毒用エタノールを用いる場合は、95%の1.5倍量必要。 (2)エタノールがない場合 50～60℃の温水でペレットを湿らせて乳鉢粉碎し、最終的に製剤(粒)1gあたり 10mLの温水を加えて乳棒で3～5分かき混ぜることにより、ペレットが崩壊し、硫酸 モルヒネが溶解する。不溶性の皮膜は18号篩(目開き:850um)で除去できる。
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンスティック 60mg	60mg 50包	1スティック中 モルヒネ硫酸塩水 和物 80mg		
モルヒネ硫酸塩徐放性製剤 カディアンスティック 120mg	120mg 50包	1スティック中 モルヒネ硫酸塩水 和物 120mg		
モルヒネ硫酸塩水和物徐放性細 粒 モルペス細粒2%	0.5g 40包	1包中 モルヒネ硫酸塩水 和物 10mg	藤本	細粒をすりつぶして水とともに下水に放流
	20g	1g中 モルヒネ硫酸塩水 和物 20mg		
モルヒネ硫酸塩水和物徐放性細 粒 モルペス細粒6%	0.5g包 40包	1包中 モルヒネ硫酸塩水 和物 30mg		
	20g	1g中 モルヒネ硫酸塩水 和物 60mg		
モルヒネ硫酸塩徐放性カプセル MSツワイスロン カプセル10mg	10mg PTP 40cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 10mg	帝国	まず、カプセルをはずし、内容物(顆粒)と空カプセルとに分けて下記手順にて 廃棄してください。 ①カプセル内の顆粒の廃棄方法 1)内容物(顆粒)を少量のエタノールで溶かしてください。 2)その後、多量の水で十分に希釈してください。 3)希釈した液を廃棄(下水に流す)してください。 ②空カプセルの廃棄方法 顆粒を取り出した後の空カプセルは、通常の医薬品と同様に廃棄してくだ さい。 なお、カプセルを処理する場合には、下記の手順に従ってください。 1)空カプセルをお湯にて時々攪拌しながら溶かしてください。 2)目視にて完全に溶解したことを確認してください。 3)溶解した液を廃棄(下水に流す)してください。
	10mg PTP 100cap			
モルヒネ硫酸塩徐放性カプセル MSツワイスロン カプセル30mg	30mg PTP 40cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 30mg		
	30mg PTP 100cap			
モルヒネ硫酸塩徐放性カプセル MSツワイスロン カプセル60mg	60mg PTP 40cap	1カプセル中 モルヒネ硫酸塩水 和物 80mg		
	60mg PTP 100cap			
日本薬局方 エチルモルヒネ硫酸塩 水和物(塩酸エチルモルヒ ネ)	1g	エチルモルヒネ塩 酸塩水和物	第一三共プロ ファーマ	水とともに下水に放流
日本薬局方 コデインリン酸塩水和物 (リン酸コデイン)	5g	コデインリン酸塩 水和物	第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田 田辺三菱	水とともに下水に放流
	25g			
日本薬局方 コデインリン酸塩散10% (リン酸コデイン散 10%)	50g	1g中 リン酸コデイン 100mg	第一三共プロ ファーマ 塩野義 大日本住友 武田 田辺三菱	水とともに下水に放流
	100g			
日本薬局方 コデインリン酸塩錠 (リン酸コデイン錠)	50T	1錠中 コデインリン酸塩 水和物 20mg	第一三共プロ ファーマ 塩野義 大日本住友 武田	粉砕して水とともに下水に放流
	100T			
日本薬局方 ジヒドロコデインリン酸塩 (リン酸ジヒドロコデイン)	5g	ジヒドロコデインリ ン酸塩	第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田 田辺三菱	水とともに下水に放流
日本薬局方 ジヒドロコデインリン酸塩 散10% (リン酸ジヒドロコデイン散10%)	50g	1g中 ジヒドロコデイン酸 塩 100mg	第一三共プロ ファーマ 塩野義 武田	水とともに下水に放流

品名	包装	組成	メーカー	廃棄方法
日本薬局方 複方オキシコドン注射液 (複方ヒコデノン注射液)	1mL×10A	1mL中 オキシコドン塩酸 塩水和物 8mg ヒドロコタルニン塩 酸塩水和物 2mg	武田 (パピナール 注)	アンプルをカットして注射液を下水に放流
日本薬局方 複方オキシコドン・アトロピン注射 液 (ヒコアト注射液)	1mL×10A	1mL中 オキシコドン塩酸 塩水和物 8mg ヒドロコタルニン塩 酸塩水和物 2mg アトロピン硫酸塩 水和物 0.3mg	武田 (パピナール・ アトロピン注)	アンプルをカットして注射液を下水に放流
オキシコドン塩酸塩散 オキノーム散0.5%	0.5g 30包	1包中 オキシコドン塩酸 塩(無水物) 2.5mg	塩野義	水とともに下水に放流
	1g 30包	1包中 オキシコドン塩酸 塩(無水物) 5mg		
オキシコドン塩酸塩徐放錠 オキシコンチン錠 5mg	5mg 50T PTP 100T	1錠中 オキシコドン塩酸 塩水和物5.77mg (無水物として5mg に相当)	塩野義	① 焼却する。 又は、 ② 熱水中に錠剤を約30秒間放置し、棒状の物で、錠剤を細かく潰し攪拌する。 次いで、この中に水を入れて冷却し、錠剤の崩壊を確認した後、下水に放流する。
オキシコドン塩酸塩徐放錠 オキシコンチン錠 10mg	10mg 50T PTP 100T	1錠中 オキシコドン塩酸 塩水和物11.54mg (無水物として 10mgに相当)		
オキシコドン塩酸塩徐放錠 オキシコンチン錠 20mg	20mg 50T PTP 100T	1錠中 オキシコドン塩酸 塩水和物23.07mg (無水物として 20mgに相当)		
オキシコドン塩酸塩徐放錠 オキシコンチン錠 40mg	40mg 50T PTP 100T	1錠中 オキシコドン塩酸 塩水和物46.14mg (無水物として 40mgに相当)		
オキシメテパノール錠 メテパニール錠 2mg	100T	1錠中 オキシメテ パノール2mg	第一三共プロ ファーマ	粉砕して水とともに下水に放流
日本薬局方 コカイン塩酸塩 (塩酸コカイン)	5g	コカイン塩酸塩	塩野義 武田	水とともに下水に放流
日本薬局方 ペチジン塩酸塩 (塩酸ペチジン)	1g	ペチジン塩酸塩	田辺三菱 (オピスタン原 末)	水とともに下水に放流
日本薬局方 ペチジン塩酸塩注射液 (塩酸ペチジン注射液)	35mg 1mL×10A	1mL中 ペチジン塩 酸塩 35mg	武田 田辺三菱 (オピスタン注 射液)	アンプルをカットして注射液を下水に放流
	50mg 1mL×10A	1mL中 ペチジン塩 酸塩 50mg		
弱ペチロルファン注射液	1mL×10A	1mL中 ペチジン塩酸塩 35mg レバロルファン酒 石酸塩 0.4375mg	武田	アンプルをカットして注射液を下水に放流
ペチロルファン注射液	1mL×10A	1mL中ペチジン塩 酸塩 50mg レバロルファン酒 石酸塩 0.625mg	武田	アンプルをカットして注射液を下水に放流
フェンタニル注射液 0.1mg	2mL×10A	2mL中 クエン酸フェンタニ ル 0.157mg (フェ ンタニルとして 0.1mg)	第一三共プロ ファーマ ヤンセンファ ーマ	アンプルをカットして注射液を下水に放流
フェンタニル注射液 0.25mg	5mL×5A	5mL中 クエン酸フェンタニ ル 0.3925mg (フェンタニルとし て0.25mg)		
フェンタニル注射液 0.5mg	10mL×5A	10mL中 クエン酸フェンタニ ル 0.785mg (フェ ンタニルとして 0.5mg)		

品名	包装	組成	メーカー	廃棄方法
経皮吸収型持続性 癌疼痛治療剤 デュロテップパッチ 2.5mg	2.5mg 5枚	1枚中 フェンタニル 2.5mg	ヤンセンファーマ	使用済み、未使用製剤とも麻薬管理者がすべて回収する。 ①未使用製剤の廃棄 (貼付直後、上手く貼付できずに剥がれた場合やライナーから剥がすのに失敗した場合等を含む) ・パッチを焼却してください。 ・焼却できない場合は、ゴム手袋を必ず着用し、ライナーを剥がし、粘着面を内側に二つ折りした後、ハサミを用いて切れ目を入れるなどし、内容物(ゲル)を放流の上、パッチ本体は通常の医薬品と同様に廃棄してください。 ※シュレッダーを使用した廃棄は行わないでください。 ※万が一、内容物(ゲル)が皮膚等に付着した場合には、その部分を流水で十分に洗い流してください。 ②使用済み製剤の廃棄 (施用途途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合も含む) ・パッチの粘着面を内側にして貼り合わせた後、通常の医薬品と同様に廃棄してください。シュレッダーを使用した廃棄は、行わないでください。
経皮吸収型持続性 癌疼痛治療剤 デュロテップパッチ 5mg	5mg 5枚	1枚中 フェンタニル 5mg		
経皮吸収型持続性 癌疼痛治療剤 デュロテップパッチ 7.5mg	7.5mg 5枚	1枚中 フェンタニル 7.5mg		
経皮吸収型持続性 癌疼痛治療剤 デュロテップパッチ 10mg	10mg 5枚	1枚中 フェンタニル 10mg		
経皮吸収型持続性 癌疼痛治療剤 デュロテップMTパッチ 2.1mg 4.2mg 8.4mg 12.6mg 16.8mg	5枚	1枚中 フェンタニル 2.1mg 4.2mg 8.4mg 12.6mg 16.8mg	ヤンセンファーマ	使用済み、未使用製剤とも麻薬管理者がすべて回収する。 ①未使用製剤の廃棄 (貼付直後、上手く貼付できずに剥がれた場合やライナーから剥がすのに失敗した場合等を含む) ・パッチを焼却してください。 ・焼却できない場合は、ゴム手袋を必ず着用し、ライナーを剥がし、粘着面を内側に二つ折りした後、ハサミを用いて裁断し通常の医薬品と同様に廃棄してください。シュレッダーを使用した廃棄は行わないでください。 ②使用済み製剤の廃棄 (施用途途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合も含む) ・パッチの粘着面を内側にして貼り合わせた後、通常の医薬品と同様に廃棄してください。シュレッダーを使用した廃棄は、行わないでください。
ノイロレプアナルゲシア用麻酔剤 タラモナル	2mLX10A	1mL中 フェンタニルクエン酸塩 0.0785mg (フェンタニルとして0.05mg)ドロペリドール 2.5mg	第一三共プロファーマ	アンプルをカットして注射液を下水に放流
アルチバ静注用 2mg	2mg×5V	1バイアル中レミフェンタニル塩酸塩2.2mg (レミフェンタニルとして2mg)	ヤンセンファーマ	溶解後、注射液を下水に放流
アルチバ静注用 5mg	5mg×5V	1バイアル中レミフェンタニル塩酸塩5.5mg (レミフェンタニルとして5mg)		
ケタラール静注用 200mg	20mL×1V	1mL中 ケタミン塩酸塩 11.5mg (ケタミンとして1mL中10mg、1バイアル20mL中200mg)	第一三共プロファーマ	開封して、注射液を下水に放流
	20mL×10V	1mL中 ケタミン塩酸塩 57.6mg (ケタミンとして1mL中50mg、1バイアル10mL中500mg)		
ケタラール静注用 500mg	10mL×1V	1mL中 ケタミン塩酸塩 57.6mg (ケタミンとして1mL中50mg、1バイアル10mL中500mg)	第一三共プロファーマ	開封して、注射液を下水に放流
	10mL×10V	1mL中 ケタミン塩酸塩 57.6mg (ケタミンとして1mL中50mg、1バイアル10mL中500mg)		

廃棄物は、廃棄物処理法、水質汚濁防止法、下水道法等により規制されていますが、廃棄物及び排水に関する規制は自治体により若干異なることもありますので、排出規制に十分ご留意の上、適正に廃棄してください。
出典：東京都健康局食品医薬品安全部作成「医療用麻薬廃棄方法一覧」